THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷 第二十三號

每週金曜日發行

大正五年六月二日發行

大正四年十二月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□改革の氣運に向へる愛國婦人會に就て……小橋三四子
□時事週評……
□簡易な田園生活……男爵 目賀田種太郎
□一人一評＝池田蕉園……
□ありのまゝ
△今に苺の眞盛り△最善の叫びは強い△蜜蜂の止る花
□二萬圓の借財を女手一つに返した經驗……
□受賞の改良服裝……
□廓より尼に……
□富士……安中花子
□病難錄……ていこ子
□入梅が近づきました……吉岡彌生
□田舍夫人の夏羽織……
□反齒の原因……吳羽
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□單衣によい地質……菅野田鶴子
□世界史お伽噺「天下最も不幸の人」……斬雲
□小說「地下室の窓より」……松本雲舟
□新刊紹介……
△人及女として△霧の王國へ△花園生活△さゝやき其他
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘
郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

バチヱラー、オブ、サイエンス
井關十二郎君著

人生と努力

美本全一冊
正價壹圓廿錢
郵税内地八錢

本書は彼の有名なるスマイルス博士の名著を抄譯したるものにして世界が生める最良書の一として喧傳されつゝあるもの一方に於て努力と勞働とを説いて活きたる典型を示し他方に於て不當の努力と勞働とを誡めて健康の必要ある所以を極説し以て人生をして最も意味あらしめ天才にも能才にも凡人にもそれ〴〵向ふ所を示し『十人並みの人も適當の努力と勞働により水平線上に容易く踴躍し得るに至るべし』といひ『未だ嘗て努力なき天才も偉人もありたる例なし』と喝破せり本日直ちに申込みて此の偉人の活ける教訓に接せらるべし。

吾人に鼓舞と慰藉と向上心を與ふる最新著述

本誌愛讀者諸君よりの御注文には氣のキイたホケットノート一冊進呈

東京神田駿河臺鈴木町
電話本局三一八五番
振替東京二九〇二九番
佐藤出版部

書籍目錄御申込次第進呈

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

改革の氣運に向ひし愛國婦人會に就て（上）

口國家的一大婦人會

近く三萬の會衆を集めて第十五回總會を開きし愛國婦人會は、實に六十萬の會員と、三百萬圓の基本金とを有する我が國唯一、否東洋西洋にも其の類を多く見ざる一大婦人會であります。總裁として宮妃殿下を戴き、都下の名望ある貴婦人を網羅して幹部に連ね、各支部には府縣知事夫人を支部長に擧げ、地位ある人々の夫人を役員とし、事務所として多く官廳を使用して、國家的に堂々と歩を進めて參りました。

口奥村女史の純正な精神

其の昔奥村五百子女史が、綿服に草鞋穿きの姿で「お前さん方は勿體ないよ、兵隊にも行かないで。戰場にある兵士を御覽、大事な命を投げ出して國家の爲めに働らいて居るではないか」とて、自らは汽車中アルコールランプを携へて粥を炊き、之れを啜りつゝ、日本全國を遍歷して「半襟一と掛け」の醵金を促して歩かれた純正な愛國の至誠は、協力一致の精神に缺けたる日本の社會をかく迄に動かした事は、誠に味ふべき處であります。

口次第に烏合の衆とならん

然し多數が集まれば、いつしか烏合の衆となり易いものと見えて、愛國婦人會も今や地方に於ては、一つは貴婦人の仲間入が有難い位の卑近な虛榮の團體にならうとし、義務一片に遺族廢兵の救護と稱して、會費の幾分かを割いて與ふるに過ぎず、年々の總會は、多額の金を費して一つのお祭り騷ぎを爲すに止り、之れを以て各支部の氣脈を通じて、事務の進捗を計るとか、會員の精神を養ふ等の催しは毫もなく、只招待と各種の觀覽とを敢へてして、歸鄕するに過ぎぬものとなりました。殊に驚くべきは、會員に紀念品と共に、愛國婦人會と銘打つたる上野淺草の活動や演藝の割引券を與ふることで、此處に至つては、地下の奥村女史も泣かざるを得ないでありませう。

口再生の時機到來

今回の總會間近に上京したる大阪を始め、鹿兒島、岡山の支部長等は、同會の近況を見て慨嘆し、其の改革を一理事に計つたので、終に本部に於ては、之れが爲め特に會合が開かれたと申します。其の模樣は如何なりしか聞く由もありませんが、此處に國家的一大婦人會が、眞に自覺して奮起するに於ては、其の大なる勢力を以て如何なる社會事業をも、慈善事業をも營む事が出來るのであります。而して內よりその改革の氣運の萠して來たのは、眞に時機の到來したもので、奥村女史によつて基礎を据ゑられた同會は、男子の手によりて組織、經營せられたが、此處に初めて婦人の事業として再生する時代が到來したものと云つてよいのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

口改革案の一

其の改革案として當局者には種々の意見もありませうが、一婦人として私は此處に其の意見を述べて見れば、第一定欵を變へて無意味な遺族廢兵の救護を止める事であります。地方によつては調査が行屆かず、遺族が再婚し、數人の私生兒を有する者も、なほ型の如く救護の金を與へ、一方はまた救護さるゝ事が特權かの如く、乞食根性は次第に增長して、職業を與へても忠實に之れを爲さず、只貰う事のみを考へて居る人間となつて終うといふ事であります。老幼廢者にして萬一職業を執るに堪へぬ者は別として、その他は從來用ひて居つた救護費を轉用して、一般の貧窮者を救ふ道として授產場を經營し、之れに職業を與ふると同時に、國家の富を增す方法を講ずるやうにしたいものです。現に大阪の支部に於ては一つの授產場を設けて居ると聞きます。その組織を擴張して、製作品は盛んに海外輸出するといふやうな運びになつたら愉快な事であるのみならず、平和の戰士として今後の愛國の精神に適つたものとなる事が出來るのであります。（三四子）

時事週評

▲米國大統領と平和

此頃ウイルソン氏の平和促進會にてなせる演說は世界の耳目を集めました。曰く、「交戰國民の間に平和運動を促し、又これが主唱をなすの權利は米國民の享有する所なり」と。その權利を米國大統領がいかなるやうに實現するかは大に見物です。尙ウイルソン氏は今般の世界平和の保證として、「各國民の世界的聯盟を作り、一切の戰爭を未然に防ぎたい」と言つてゐる。今回の大戰亂が唯二十世紀の戰爭の方法を改良發達させた丈けで、尙一層怖ろしき戰爭の前提であるとしたならば、實に人類は禍であります。人類の理想が世界的平和であるにかゝはらず、それが未だ少しも實現されぬのは、各國民皆我慾の致す所にほかなりません。利害の衝突、唯それだけの事が戰爭といふ活地獄を此世に持ち來すのですが、どうしてもつと宗教的精神が各國民を支配せぬのであらうと嘆かれます。此大戰亂の結着の仕方如何は全人類の將來の幸不幸に大なる影響を與へます。來らんとする平和について、此點を深く考へて、仲裁の勞を取る者は、米國大統領であると否とにかゝはらず、世界人類の大恩人たる事が出來ませう。

▲工場法實施延期

六月より實施せらるゝ筈であつた工場法は樞密院の反對を蒙つて延期する事になつたさうです。政府にとつてこれほどの耻辱はありますまい。世間では樞密院といふものゝ權限について今更贊否の議論がやかましくなつたやうです。

二

英國では十七世紀まで內閣といふものはなかつた。國王と議會があるのみ。そして國王の最高顧問として樞密會議なるものが、實際內閣の役目をなしてゐた。それに較べると、日本の樞密院といふものは、內閣でもあろし、又議會でもあろし、實際妙なものを作つたものである。天皇の最高顧問は內閣であるべきである。又その內閣の施政を討議するのは、議會でなければならぬ。實際日本の政治組織は屋上架を設けるやうな複雜なものである。工場法に不備な點もあらうが、それは次第に改良すれば足れり。其の實施延期は惜しい事である。

▲北海道鐵道一千哩

北海道鐵道一千哩祝賀會が此頃開かれましたが、北海道の地圖の四端に鐵道が延長されてゐるのを見て、一寸驚かされました。北海道の植民は確かに成功したのです。その成功がクラークといふ米國の宗教家兼農學者が札幌農學校を起したことに原因してゐる事の多いのを想ふと共に、さてはと首肯かれるのであります。犧牲的精神は植民の根本であるべき事を祝賀會の人達が悟れるや否や。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡易な田園生活

手狭な土地にて一家を支へ得る收入を得る道

男爵　目賀田種太郎

□六百坪の土地にて

歐米は大農國と云はれて居るが、強ち大農斗りではない、土地の必要と實況により、極めて集約的農藝を務めて居る。殊に園藝的集約農事は、隨分範圍も廣く緻密に行ふ事が出來る。米國にて昨今行はれて居る書物の中に、かやうな面白い設計が掲げられてあつた。先づ六百坪の土地を購入し、この中に二千四百圓斗りの建築費をかけて、五十餘坪の溫室を設け、其の地內に住宅を作るのである。

□メープルの栽培

かくして水理と薪材を得るの便さへあれば、餘程寒氣の劇しき所にても住ふ事が出來る。殊にこの溫室を利用し花卉其の他を栽培すれば、一家の生計を得るに充分であるといふ。之れ等は小都會に近き田舍間に行はれて居る。又一般の農家にして寒氣の強い土地には、メープル即ち我が楓樹に當るものを住宅の周圍に植うる事なるが、これは七年木と稱し、七年位經過すれば、充分に成長し、十年木となれば幹も直徑五寸位になる。かく成長早く我が國の楓の如く枝葉の繁茂するものであるから、夏は日除けとなり、冬は防風防雪林となるのみならず、その樹液からは、かのメープルシユーガーといふ砂糖を作る事が出來るのである。

□樹液を絞る法

メープルから砂糖を取る方法は極めて簡易である。先づ樫の木の如き堅質の木を取り、恰も我が國に於て米俵を檢査する時、俵の中に突きさす竹箆の如き形に作り、之れを十年木位のメープルの地上より三尺斗り上の木幹に倒にして五十度位の角に突き込むのである。これを早朝行へば、午餐前にはその下に置いてあるバケツに大抵半分以上の樹液が溜る、無論この箆を突き込むことは木の大小により二本にても、三本にてもよろしい。そして今日この木を絞つたら、明日は次の木をといふ樣に、同一の木を毎日絞らずに交互に休めては、絞るやうにするのである。

□メープルから砂糖を作る

絞れた樹液がバケツ二三杯にもなつたら、平たい底の厚からぬ鍋に入れ、再三沸かすと漸次にその澁は除かれ、一つの糖汁となる。その糖汁を縱一尺五寸、巾一尺位の平たき容器の中に二寸に三寸角位の長方形の枠あるもの丶中に流し込んで結晶させる、後これをひつくり返へせば幾多の砂糖の方塊が出る譯である。之を一ダース半ダース位に束ねて置き、自家用又は賣用の砂糖となし、子供等には菓子の代に一つ位宛與ふるのである。之れ等は簡易なる農家の副產物である。このメープルは實が生る故、實生又は苗にて植るを以て、楓樹の一種と思ふのである。米國の寒氣強き地には豊富に成長するもので、前年之れを取寄せ、北海道に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實又は苗を送り試みたるが、その後結果は良好なりし由傳聞したるも、之れより樹液を取りて砂糖を取る事は如何なりしか、未だ消息を聞かぬのである。

□サイダー酒の醸造

この外農家の副業としてサイダー酒の醸造あり、こは我が國にて目下試製中の方法と異り、頗る簡易のもので、只期節に至り、林檎の形の惡くて、そつになりたるものを集め、バケツの中に入れ、之れを壓搾して汁を絞り出し、暫時置くと醱酵して佳良なる飲料となるのである。そして農閑の休息に盛んに飲用し、書生等は瓶子に一杯五錢位にて買ひ、充分に飲用する事が出來る。この販賣は荒物屋にて賣るのが習慣になつて居る。余の考へにてはかくの如き低廉にして無税なる飲料を供給する事は、農家の休戚の問題として、最も必要であると思ふ。如何となれば清涼飲料にしてアルコール分極めて少く、家族的集團の午餐晩餐の料として最も佳良なる飲料である。之れ等の飲料は又一面有害なる飲料豫防材料となるであらう。米國にては書生がビヤホールに入る事は先づ不都合となつて居り、地方によつては絶對に禁止されて居る。然し荒物屋よりサイダーを五錢買つて飲む事は、健康上、娯樂上にも適する事と許されて居るのである。

□三百坪にての設計

なほ束ねて云ふべきは獨逸の集約的農藝であるが、之れはまた三百坪あれば、居宅の周圍に林檎を植え、その下に蜂箱をかけ、養蜂をなし、地内に池を三段に作つて養魚をなし、その池の底を堀つて空地を作り、菌類を栽培する時には、林檎、養蜂、養魚、菌類の三つの收穫を以て充分一家を支へ得るといふ事である。池の底を利用するといふは、一寸書き現はし難きも、水利さへよければ水を精妙に用ふる事が出來る。例へば米國等には事務室用の借室の三階等に、水泳學校を設け、之れに温冷二つ作ら水を送り、又は三階四階の上に既を設け置く等の構作は容易く行はるゝが故に、池の底を持ち上げて、その空間を自由に用ふる事は決して難事では無いのである。

□獨逸人の住ひし後

元來獨逸人が集約的に微細なる處に意を用ひ、園藝作物を培養するが如きは、現にその實例に接し、自らも少し試みた事がある。嘗て余の居住せし家宅が、舊と獨逸人の居宅で、その儘引受けた事があるが、この家宅の邸内には、小さい温室を設けてあり、ビール箱その他あらゆる空箱を棚の如く並べ、之に葱、人參、蕪等各種の野菜を栽培し、殆ど一家の用に供するを得べく、又家庭には古ぼけたる硝子窓の毀れや種々の木材を取集め、安作りの温室を設け、安作りのストーブを置き、中には用水桶を備へ、それより水を送つて、日用の野菜を栽培してあつた。余の家族が住へる後、引續いて之れを試みんとしたが、支那人のボーイならば、之れを氣付けて呉れるが、日本の召使ひにては面倒がつて、世話が行屆かず、さればとて自分が直接に手を下す事も出來なかつたので、終に中止した事がある。簡易集約的園藝は先づかくの如きものである。前述のメープルは朝鮮にては丹楓と稱し砂糖の取れる事を傳る由である。然し寒氣強き所でなければ、糖液は生じないであらうと思はれる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありのまゝ

『婦人の聲』を『ありのまゝ』とかへました。何んでも皆樣の御生活のありのまゝを二十行内外に御知らせ下さい

□今は苺の眞盛り

故國は今青葉繁り、夏の色滿ち渡りたる頃と想像致して居ります。貴誌毎號喜んで拜見致して居ります。當地大博覧會中の大人氣者たりしアートスミス氏昨今御地に於て好評中の由、同氏の爲めに喜んで居ります。當地は今苺の眞盛りで、農園に働らく人々は、忙しうございます。昨日市で茄子一つ十五仙の割で買ひました。胡瓜は一本十仙、これでお安くなつたのです。（在桑港大澤ます子）

□最善の叫びは強し

青葉若葉の薫りなつかしき初夏の候、益々御健勝に渡らせられ、御めでたく存じ上候。貴誌毎號上が上御精選遊ばされ候内容の豐富なるを拜讀致し候毎に、御苦勞の程感謝致し居候。やがて公娼廢止の問題につき、御目ざましき御活動を世に御示し下され候御事と、御喜び申居候ゝいかに僞り多き人の世とは云ひながら、最善の御叫びに敵たふものもなかるべく、最後の勝利の御手に落ち候やう祈り上候。御入用の費用の一部に御加へ下され候やう本日二十口分御送り申上候間。何卒よろしく御願ひ申上候。（奈良立野和子）

□密蜂の止まる花

密蜂の忙しさうに働らいて居るこの頃は、甲斐の山麓に田園生活をした昔の事が忍ばれます。養蜂は誠に面白いもので、働らき蜂は決して華美な花には止りません。野薔薇や、覆盆子や、密柑の花に喜んで行きます、櫻にも行きますが、それを吸つて取れた密は、覆盆子や、密柑のやうに豐潤ではありません。（東京吉川民子）

×××

一人一評

池田蕉園

▲私の書齋には、四板の美人畫を一つの額にして懸けてある。それは今から十五年前、私が齊二才の書生で、或る寄宿舎にゐた時、その舎生がこしらへてゐた雜誌の口繪を保存しておいて、私自身額に仕たのです。雜誌といつても無論印刷したものでなく、原稿其のまゝを綴じたものです。

▲私は其の雜誌の主筆であつた。雜誌を編輯して見たものゝ、なにか口繪が欲しかつた。すると一人の舎生が「僕が貰つてこよう」と言つて、近所に住んでゐた其舎生の親戚にあたる娘の描いた美人畫を持つて來た。「これは内所だよ、口繪にしたなどいふと怒られるから」かうして立派な口繪が出來たので、皆んな喜んだ。「これに善い雜誌が一段の光彩を加へたれ」などゝ言つた。

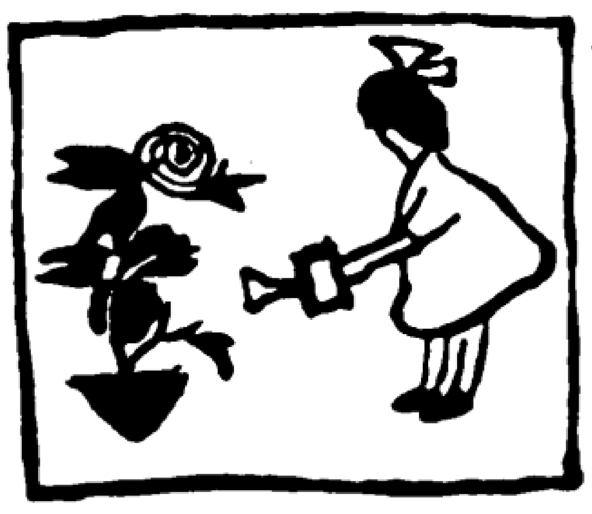
▲其頃其寄宿舎に居つた人達は皆んな相當の社會的地位についてゐる。農學士や醫學士や商學士や文學士になつて社會に働いてゐる。その繪をもらつて來た男は文學士で、某中學の教頭になつてゐる。其時の雜誌の主筆である私が一番の落伍者になつた。

▲さうして一番偉らくなつたのは口繪を描いた娘さんである。私の書齋にある美人畫の筆者である。それは取も直さず今の池田蕉園女史だ。今でも十五六の蕉園女史、いや、榊原百合子さんが女子學院に通ふ姿が私の眼の前に浮んで來る私のゐた寄宿舎の前の坂を上つてゆく其の横顔が眼につく。あの小さな娘がこれほど美術界に名を成さんとは夢にだも想はなかつた。

▲百合子さんはかういふ意味に於て私の記憶中に親しい方である。さういへば私の書齋の美人畫も、値があるのであらう。それには落欵がないので、二三年前書いてやらうといふ言傳があつたが、まだ持つてゆかない。（くも）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六



二萬圓の借財を女手一つに返した

今井慶松氏の母堂

□稀れに見る事業家

琴曲界の泰斗今井慶松氏の母堂よし子刀自は賢母の譽れ高き方でありますが、また同時に機を見に明敏な頭腦と、不撓の意志と、周到なる用意とを持たれた稀れに見る事業家であるとの噂が高うございます。刀自の良人は明治の初年から横濱本町に西洋食料品店を設け、早く渡來した舊敎の高德の僧正が、其の看板を書いたといふので、西洋人間に響いて居りましたが、事業半ばにして、歿せられ、店は慶松氏の弟君が預る事になりました。

□二萬圓の借財ありし店

其の後さま〴〵の行違ひから、次第に財政は傾き、主人は店を捨てゝ、何れへか行かれたので、餘儀なく明治三十七年母刀自は一女を伴つて、此の店に坐る事となりました。先づ店の商品から貸借を精算して見ると、丁度二萬圓斗り不足して居りました。刀自は如何にもしてこの借金を返濟しなければならないとて、自分も息女も貢子に立交つて働らく事にし、先づ第一に思ひ切つた人減しを行ふ事になりました。それでも藏番、中僧、小僧や女中を併せて十四五人も使つて居られましたが、刀自は朝夕の食膳もこれ等の使用人と共にし、自分が先づ働らいて人を動かすので、次第に其の心根を汲んだ人々等は、何れも心服して、陰日向なく働らきました。

□親切と時間の嚴守

小僧等は今迄コックが砂糖を買ひに來れば、一斤といふ處を二十匁もおまけをして置いては、御用聞きに行つた節臺所でアイスクリームの一杯も御馳走になつたり、藏番は、ビール箱から二本三本と拔いて、私かに傾けて居つたものが、主人が一緒に働らくやうになつたので、ハタとこんなさもしい事は止んで終ひました。そして華客には親切と、時間を嚴守するので、すつかり信用を得て「あすこの品なら大丈夫だ」「あすこに誂らへたら間違ひこはない」といふ評判は、忽ち二倍三倍のお客を呼ぶ様になりました。

□借財返濟の仕方

そして借金は豫算を立てゝ、月々期限を間違はずに返濟する事にしましたが、その振り分けは、五百圓の金があるとすれば、一方に二百圓一方に三百圓返濟し、次の月には一方に三百圓一方に二百圓といふやうな仕方で、小口から片付けて行きました。萬一豫算通りに行かぬ節は、曖昧な態度をせずに、先方の懐に入つて「今日は金がありませんから、何時何時迄お待ち下さい」といふやうにされました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□成効の秘訣

かくて五年の短かい歳月に美事借財を返濟され、幾分の貸しを殘して、再び子息に渡されましたが、其の後もはや食料品店の時機でないと見てとつた刀自は、利益ある中に閉店させて、その土地を高價に貸すやうに取計はれましたが、果せる哉其の後引續いて濱の有名な食料品店七軒は破産の悲運に遇つたと申すことです。かやうな機を見る才は別として、成効の秘訣として刀自の語らるゝ處はかうであります。「見えを張るな。人に借りて置くな。金があると油斷する。借金をしないのが信用になる。勝負事が一番恐い。日々の事を節して、小使ひの中から貯蓄して、營業費に融通するな」と申すことです。

□風流の嗜み

刀自はまた風流の道にも嗜み淺からぬ方で、俳句では可成りに名を知られて居ります。

名月や慾にはほしき松の影
濡れながらほめて歸るや夏の雨

などの秀逸なのがあります。今日は十人の子女の立派に社會に立てるを樂しみながら、慶松氏の住ふ麹町一番町の隣家に、今年六十四歳の老體を安らかに養つて居られます。

受賞の改良服装

どんな新らしさか

過般報じて置きました讀賣新聞社の樓上に開催されてある服裝展覽會の出品物は、塚本靖、伊東忠太の兩工學博士及び神田順、跡見花蹊女史達の嚴密な審査の上去る二十五日優秀なものが次ぎのやうに決定致しました。而して一等となるものがなくて二等二人、三等四人でございました。

□二等入賞のもの

二等、小學生服(大阪島田すゑ子氏出品)夜具(静岡縣松山よし子氏出品)

▲小學生服――之れは着物が衣と袴との二つに別れ、その格好は略袴と着物とを縫ひ付けたやうなもので、適宜に上下を離して洗濯しうるやうに工夫してございました。而して小さい子供の常として兎角袴を下にずらし勝な所から、この服の袴の方は袴の腰に當る所を着物に縫ひつけて、落ちない樣にして有ります。

▲夜具‥この夜具に普通の蒲團の肩から裏側にかけて幅六寸丈一尺三寸許りの子供の袖無の前のやうなものをつけて、搔巻兼肩よけにしたものでございました。

□三等入賞のもの

三等、女學生服二組(東京和洋女藝學校及び神戸親和高等女學校出品)夜具(石川縣寺尾きく子氏出品)枕(本所瀧口由三郎氏出品)

▲女學生服二組――之れは二組とも略同工夫の者で、何れも袴と着物との二つに分れ、着物は普通の丈よりずつと短かく股の邊りまでの長さに止め、その上に袴を着るやうにしてございました。ですからその着物の袴のつい下に下穿が來る譯、少し丈の長い半纏枠の上に袴をつけたやうなものです。重苦しい着物の裾を蹴り歩む患ひのないのと、袴と着物とを同質のもので作る所から特に人目に立たないのと、用布が僅かで濟むのとの特長があるやうに思ひました。而して各々の差異を言へば、和洋女藝學校の出品の方は袖を元祿袖にし、袖口を打紐にて括り、袴も略普通と同じもので紐を前で結んであり、親和高女校出品のものは、着物の袖を元祿袖に縮め、袴を洋服のスカートのやうな仕立方にして紐を結ぶべき所に紐形に結んだのをつけ、その下で袴はすべてホックで止るやうにして有るのでした。

▲夜具――蒲團と夜具とを捏れ混ぜたやうな形のもので、肩上げは首が自由に動く範圍にあけて衿をつけずに裏表の用布を縫け合せて肩の重さをさけ、袖は前側なしに後側だけのものを肩山より二寸許り前身の方からつけて用布と綿との經濟がしてありました。

▲枕――之れは普通の枕覆の中央に枕の丸さだけの長さの打紐を一寸經につけて、枕覆の兩端を細い打紐で括るやうに結び、而して枕覆ひが動かぬやうに工夫してある輕便なものでした。

專門の人の眼を通して見たらば時間の上から、經濟の上から、衞生の上から、其他種々な點から色々優れた所がございませうけれど、此處には私が見たまゝを記すに止めませう。(民子)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廓より尼寺に（下）

佗しい半生を御法の救ひに托せる彼の女

□私かに廓を逃出づ

彼女が自由廢業を申し出た長い〳〵手紙をお客の一人に托して救世軍の本營に送つたのは、大學病院から歸つて來た翌月の初めの九月でした。夫れから五日目にはもう自由な身となつたのであります。中形の浴衣にメリンスの帶をしめて洋傘の陰に身を潜める樣にして廓を逋れ出た彼女は、廣い〳〵天地の間に自分の身に屬するもの丶何物もない事を知ると、うら寂しい眼に吾れと吾が身を顧りみましたが、自分の身が自分のものとなつたと思ふと、やがて包み得ぬ喜びに顏中が晴々しく輝くのでした。

□郊外に病氣を養ふ

『私の言葉に從ふなら數百金を惜しまず待合でも出して、食べるに不自由はさせないが……。』など甘い言葉に言ひ寄る男を片つ端から蹴散らして、彼女は郊外の人里離れた四つ目の里に病後の身を休める隱れ家を求めました。彼女は門邊を流れる川の面を眺めやり、浮き草の定めなき人の世を思ひ、武藏野の楢林の木立の奥に分け入つては老木の根元に腰を下して、靜かに青葉のさゝやきに耳を傾けながら深い〳〵默想に更つてゐました。この間彼女が何事に思ひ及んだか、誰れ一人知るよしはありませんでしたが、突然彼女の姿は行方も知れず見えなくなりました。丸の内の某ホテルに姿を變へて現はれたのは、夫れから二年目なのです。

□切ない戀に破れて

彼女は目下北海道へ行つて居ります。尼僧となつてからの彼女を助け勞つてゐ

八

られる某海軍將校の夫人を或る日お訪ねして、尼僧となるまでの心の變化をお伺ひすると、注意深く涼しい眼をしばたゝきながら、

『彼女のことは、全く人樣に申したくはございませんが、强ひてお話し致しますなら』、とポツリ〳〵拾ふやうに言葉をつゞけて『尼僧となつたその動機は、唯自分の穢れた寂しい身を救はれて、殘る半生を明るく過したいと願ふからなのでせう。眞にみ佛の心と合致し得る境涯に這入るなら彼女のやうに悲慘な運命に虐げられた女は、殊に幸福であると存じますので、及ばずながら何かと相談相手となつてゐるやうな譯でございます。勿論初つから尼僧となることが希望ではなく、人並みに夫を持ち、妻と呼ばれたいと思つた事もあるやうですが、廓を出ると同時に命までもと思つた切ない戀に破れて、深い痛手を負つたやうでございます。で彼女は何物かによつて救はれねば生を續け得ないほどに苦しくなつたので四つ目の里から姿を消して、直ちに身延山に分け入り、二年近く山籠して苦行を積んだのでございます。彼女の苦行は實

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に凄壯なものだつたと申します。僞り多い世を今は何と思つて居りますか、唯南無妙法蓮華經のお題目を明け暮れ稱へて安らかな面を致して居ります。失戀したのは、男に愛しい妻子のあるのを知らずして、一向戀してゐた爲めだつたやうでございます」。と、夫人は斯う仰有ると言葉を切つて再びお口をお開き下さいませんでした。

口の女の懺悔

私がお暇をしやうとすると、遂つかけるやうに、

『然し彼女はまだほんの青道心で居りますから、彼女の行く道を開いてやらうと思召すなら、名前は必ずお秘めおき下さいます樣に』と仰有つて、思ひ深げにお見送り下さいました。其處は人通りの激しい下町のある大路から横に這入つたとある横丁の奥の土地柄には思ひがけない木立の深い一構のお邸でした。私はまぶしい日光を浴びながら、切ない戀に破れた苦しい心を抱きつ丶、多く人が捨て鉢になる所を淸らかな途を選んでかうして信仰の生涯に入つた彼女の上を幸あれかしと祈らずには居られませんでした。彼女は『正當な途によつて得た金でなければ人の世の榮は得られない。』と親しい人に兄の上を案じわづらひながら泌々と語つたと申します。彼女の淸らかな讀經の聲は、今北海道の何處かに聞える筈でございます。幸あれよ、彼女！

富士

安中花子

富士よ唯なれこそ知らめ燃えに燃えしほのほの後の奇じき靜けさ。

かけらんに翼はあらず醒め果て丶眠り欲りせずあはれ我が魂。

夏來れば我が歸り行く大富士の裾野戀ひしも夢のふるさと。

美しきもの丶限りと眺めけり家居する日のさみだれの庭。

昔見しやうなる人が夢に來て共に行かんといきまきにけり。

廣告

S. KATO, Stationer,

內外文房具
並學校用品
東京九段下電車停留塲側
エス力堂
電話番町七八番
振替口座東京三二四九〇番

小橋樣の御事業に贊成し婦人週報の讀者の方には多少の割引をいたします此廣告を御持參下さいまし
加藤咲

六月六日より十日間開催
午前十時より午後二時迄
西洋料理十回講習
壹回實費共金五十錢
この講習會は特に主婦の都合よき時間を計り會費も一回毎に定めて出入に便利を計つて置きましたお誘ひ合せ御來會下さいませ
本鄕區彌生町三番地
櫻井女塾
電話下谷六八一五

古本
高價に買受ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病難錄

（四）

てい子

手術の前後

□入院四十日目、第二回の驗診の後で、手術可能の承認を主任の博士からえた時は、生の確證を與へられた程に深い喜びがあつた。それまでは生と死が肩を並べて私共の前に立塞がつてゐた。死は絶えず慘忍な暗い笑みを生に浴びせかけながら、「私の方が強いさ、きつとお前を蹴落して見せるから」と生を嬲つてゐた形だつた。手術の聲と共に生が力を增して、死は私共の意識外に影を遠くした。

□八月二十九日手術の前日、私は歡びの裏に永別の意味の含んだ心を抱いて病院を訪うた。明日は内臟の一部が切り捨てられて一種の不具者になるのだと、普通の人間として誰でも持つてゐる完い機關（病氣は別として）を備へた面影の最後の日に對して、淡い哀惜の情がうごいてゐた。手術臺の上の魔藥の眠りが永遠に醒めなかつたら？と子供らしい想像の不安も混つてゐた。其日病室は交る交るの見舞の人でいつもより賑はつた。

□鋭利な刄物が敏捷に働らいて、愛するものゝ肉を裂く時、そこから流れ出る鮮血、切り離される腎臟、魔者の唇のやうに開いた傷口、そのあとを針で縫つたり、ガーゼを詰めたりする生々しい治療の場面、それを想像する丈けでも心臟の血が凝結しそうな怖れと、手術臺の近くに自分を置いて、じつと瞳子を見張つて自らの強さを試してみたいやうな、試驗的慾望とが私にあつた、けれ共病人は家人が澤山側に居るのを好まないのだ、手術の晝私は家にゐた。母と伯父がその日の立會人になつたけれど、刄物が體に觸れやうとする時、居堪らずに逃げ出してしまつて、附添ひの看護婦丈けが終りまで見てゐたといふ。

□夕ぐれ私が病院についた時は藥から醒めて傷口の痛みに苦悶してゐた。母と伯母とはどうしていゝかわからないやうな困つた顏して私の行くのを廊下に出て待つてゐた、苦しみは思つたよりも烈げしい、堪らなさそうに呻く、齒を喰ひしめては痛みに勝たうとする、私もウロ〳〵してしまつた。「馬鹿に經過がいゝそうだ、手術の具合も非常に宜かつたそうだ」と、樣子を見に來て下すつたMさんがA博士に電話をかけて、沈んだみんなの心を引立てゝくれた、母と二人その夜を病院で明かした。

□「苦しむ人の傍で終夜を過した心は眞劍な祈りと愛に滿ちてゐた、時に小さい聲でまた手眞似で要事をいふけれど、よく解らない事があつた、そんな時は一層苦しさうな表情が浮ぶ。どんなに苦しいのかしらと察する丈けで、私自身がその苦痛の中にはいり得ないのを淋しく悲しく思つた。氷を割る音が冷く冴えて聞ゆる、苦しみや歎きは此の建物の下に宿る誰の上にも、どの室にも籠つてをるのだと多衆の爲めの祈りが湧いた、要事で座を離れた折廊下の窓から空を眺めた、星を見た、立つ度びに窓に倚つた、地に住むものゝ苦しみから、瞳子を高い夜半の自然に移す時、神秘的な深い慰めを感じたので」、（その夜の感想から）

田舎夫人の夏羽織

▲「東京は猫も杓子も夏羽織を着て居るつて云ふから、私も一つ拵らへて行かにあ」と云つて或る百姓のおかみさんは、市の呉服屋で氣張つた夏羽織を拵らへ、意氣揚々と都に上つて來ました▲或るお屋敷を訪問しやうとする矢先き、俄雨が降り出して來た大事な羽織を汚しては大變と行李の奥深くしまつたおかみさんは、先方に行つて「降りますものですから、羽織も着ないで失禮でございます」と。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入梅が近付きました

衛生上の注意の数々

吉岡彌生子

□最も光線の薄い時

人の健康を保つ上に、太陽の光線程大切なものはありませんが、入梅になりますと、其の光線は最も薄く、且つ常に空氣は濕氣を含んで居りますから、細菌が發生し易く、平生健康な者も、兎角病氣になり勝ちです。第一食物の腐敗し易い事は夥しいもので、今迄一二週間は大丈夫であつたものが、二三日で腐敗するといふ有様ですから、食物の煮措き、菓子の買ひ置きは、充分注意しないと、腸胃を壞す媒介となり易うございます。又食器は勿論の事、布巾は常に乾いたものを用ふるやうに數を増すか、また少數で濟ませやうとならば、火で乾かすやうに務めたいものです。

□不衛生な洗濯物の持越し

御洗濯物は、地方によつては冬の物は夏洗ふものゝやうに思つて居りますが、雨期を汚れた儘で越す事は、所謂黴の爲めに、地質を傷める事は非常な計りでなく、衛生上危險な事です。それ故入梅前に片付けて置くか、萬一それが出來なければ、籠に入れて風通しのよい處に置くやうにしたいと思ひます。

□新陳代謝が鈍くなる

小兒に就て特に注意しなければならぬ事は、雨に濡れた節です。かやうな折に身體をろくに拭ひもせず、衣服を着せれば、必ず寒冒に犯かされます。且つ前申したやうに光線の少い時の事とて、體内の新陳代謝も鈍りますので、多少胃も惡くなつて、食慾も進みません。そして何か間食をして見度いやうな氣分になりますが、一定の食事外の間食は餘り望ましいことではありませんから、成るべく避けて、午前十時頃と、午後の三四時頃に與へるやうにし、食時の料理を美味くするやう注意して、食慾増進を計らなければなりません。此の時期は一般に淡泊な調理が口に合ひます。

□小兒の體温は高い

萬一小兒が胃腸を害して下痢を起した時には、直ちに醫師の手當を用ふる必要があります。消化不良症等は、此の期に最も起り易い病氣で、手當を怠る時は、一命にかゝはる事も少くないのです。また蒸暑い此の頃寢冷えをしはしまいかと心配なさいますが、小兒の體温は大人が考へるよりも遙かに高度ですから、澤山のものを掛けなくても、寢冷えをする氣遣ひはありません。只胸や腹部の冷えぬやうに、寢衣の下に「寢冷え知らず」を着せて、輕い蒲團を掛けて置けばよろしからうと思ひます。暑くさへなければ、決して蒲團を剝ぐものではありません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

反歯の原因

主婦の日記から

呉羽

□

同時に二本拔けた前齒の一方は疾くに生えたのに、他の一方が久しく生えないのを案じたM子(六)の上の前齒が生えて來たのを今日發見した。然も反齒になるべき傾向を帶びて、齒莖の上の部分に大きな白い齒が見え出した。

□

乳齒の拔けたのは何時だつたかと思つて、日記を繰ると、去年の十一月の三十日。それからざつと半年經つて居る。どういふ譯で同時に拔けた齒の一方が出ないかといふ事を不審に思はない事はなかつた。けれど、齒根が殘つて居ると反齒になるといふ事を承知して居たから、大事な前齒の拔ける時には、私は非常に注意した。なるべく自然に拔けるのをまつ方針で、拔けた時にも齒の根の完全にとれたか、どうかといふ事に注意した。今考へると、どうも一方の齒の根がすこし短かい樣に感じたので、拔けた時すぐ指で齒莖を推してみたが、指先にふれるものは何もなかつた。私は完全にとれたものと思つて居たけれど、あれは吃度完全に拔けたのではなく、少しの齒根が殘つて居て、あとから生える筈の齒が出る事が出來なくつて、永い時日を費して、遙か上方の齒莖を突破つて出たものと想像される。

□

反齒になつたらどうしやうかと思つた年寄達は「かういふのは直に並びます。」といふけれど、それは信じられない。もうすこし樣子を見てから歸京して齒醫者にみて貰はふと思ふ。下齒の門齒が生えかはつた時も不揃であつたので、齒醫者に直ぐ連れて行つたら、もうすこし大きくならなければなほせないし、放ておいても揃ひますといはれてそのまゝにして置いたが、その齒は今はよく揃つて居る

◉洗粉の用ひ方

■ドンな汚垢も殘りなし■
■肌理細かに色艶美くし■

肌を洗ひ清めることは、獨り汚垢を落せば可いといふものではなく、汚垢を落しますのは、たゞ清く美しくするといふのみではなく、皮膚を健全に、健康なる自然美を發揮する爲めでありますから、肌を洗ひます洗料は、汚垢さへ落ちればよいのではなく、汚垢を落すとゝもに、美しい地肌、健全の皮膚にせねばなりません。

汚垢は皮膚の機能を妨げ、皮膚を不健全にします、併し之を洗ひ落すからといつて、皮膚の角質を腐蝕して、肝腎の皮膚營養を損傷して了ひましたのでは、汚垢から受くる害よりも以上に皮膚を不健全にし、醜いものにして了ひます、クラブ洗粉は汚洗を落す力が強く、いかな汚垢も殘りなく落ちますが、之が爲めに皮膚の角質を傷めることはなく、害の生ずる汚垢を去つて、機能を活潑にし、色艶の美しくなる、肌理の細かになるべき作

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の上の前歯もあゝいふ風になればいゝがとしひて思ひなぐさめるより外はないいゝ歯醫者のない田舎に居ては。

今週の惣菜

櫻井ちか子

口棒鱈と慈姑の甘煮　この節は市に棒鱈が澤山出て居ります。四人位の家族ならば、棒鱈十錢に慈姑五錢位で澤山です。先づ棒鱈は水に浸けて軟くなつた時、皮と骨とを除き、適宜に刻んで醬油、砂糖、鰹節で煮上げます。謂め慈姑は皮のまゝ茹でゝ皮を剝ぎおき、殘りの汁で煮つけます。なほ砂糖を少し餘計に用ひて、甘味くし、煮上つた時光澤のある樣にします。なほ棒鱈は出しの出ないものですから、鰹節を用ひる必要があります。

口キヤベヂのカレー煮　同じく四人前にはキヤベツ三錢牛肉十錢位の割合にして先づ牛肉を小さく切つて油で炒つて置きます。キヤベヂは五分四方位に切つて其の中に入れて一緒にざつさ炒り、鹽、胡椒、カレー粉を加へて味をつけます。好みによつては醬油をかけて食べてもよいのです。なほキヤベヂは煮え過ぎると味が悪くなりますから、注意しなければなりません。牛肉の代りに豚肉を用ひても同樣に出來ます。

口小蕪のアチヤラ酢　この頃は蕪も大分出始めました。先づ蕪の皮を剝き、格好よく葉先を切り去り横縦にぎざ〱に刻み目を付けて鹽をふりかけて置きます。一二時間すると柔かくなりますから、之れを酢に砂糖を加へたものゝ中に暫く漬けて置き唐辛子の輪切にしたのを、一寸挾んで膳に上せるのです。之れは長く保つものですから、適宜な分量だけ拵らへ置けばよいのです。

口鯉こく　赤味噌を普通の味噌汁より薄く溶き、其の汁の煮立つたところへ鯉を入れて一時間位煮ればよいのです。下す前に砂糖を少し入れると、鯉の一種の臭氣が消えて、味がよくなります、鯉は料理へる時に膽を切ると、全體の肉が苦くなりますから、よく注意しなければなりません。なほその鱗は取らずに筒切にするのです。

口胡瓜のサラド　胡瓜を皮のまゝ普通の瓜もみにするよりは、心持ち厚く切り、鹽をパラ〱さかけ、笊に入れて次のやうに拵らへたソースをかけます、即ち酢とサラド油を等分に入れ、砂糖、醬油、辛子を適宜に交ぜればよいのです。このサラドに赤茄子の皮を剝き輪切りにしたもの、及び萵苣を交ぜればなほよいのです。

用を備へて居ますから、洗料としてクラブ洗粉を用ひますことは、衛生に適ひ、美容化粧の理法に合した方法であります、一般社會の淑女も紳士も、專ら御愛用になられて居ります。

併し物には用ひ方があります、用ひ方によりましては、其の効用の上に少からぬ損益があります、クラブ洗粉も先づ掌にクラブ洗粉を取り、それと同じ位の分量の水を滴し、よく溶き煉りましてから、それを襟から顔へ塗り、兩掌でよく〱摩擦するやうにして洗ひますと、手觸りが滑かになつて來て、ほてりが出るやうになります、そこで微温湯で洗ひ流しますと、肌理が細かく、柔軟で潤澤のある色艶の美しい肌になりますから、少量の洗粉で十分に事が足りるのであります、これといひますのもクラブ洗粉は牛乳よりも卵子よりも皮膚の滋養になり、石鹸よりも安全で美しくなれる理想の洗料であるからであります、生れ變つたやうに垢拔のして美しくなる美身料として、クラブ洗粉の賞用せられますのも、全く此の如き効果が顯著であるからの事であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

單衣によい地質

何が一番經濟で着心地がよいか

菅野田鶴子

□モスリンは初夏のもの

單物としては、モスリンは輕くて腐ばなれがして、皺にならなくて、至極工合がいゝものとして、今日迄は中々需要が多うご座いましたが、洗濯がきかないのと、汗にもろいのとで、追々眞夏着としては用ひられ方が減じて、反つてセルと普通の單衣との間衣に多く用ひられるやうになつて參りました。

□銘仙と節養老と紅梅織と

モスリンを除いて何が最も適するか、明石、透綾、絽織は上等品として、平常着の丈夫向として最も多く用ひられますのは銘仙に及ぶものは無いやうです。昨年あたりから節養老が割合に安價で、染めも宜敷いから、段々に用ひられて參りましたが、銘仙程澤山の柄行きがありません爲め、幾分需要者の満足を缺く、點もないではありません。然し絹紅梅織の方になりますと、腐ばなれもよく銘仙位の丈夫さもあり、柄も澤山ありますから、以上の三者の中では最も適して居るものと申して差支へないと思ひます。

□薩摩産縞物とよついり

木綿では薩摩産の縞物は、幾度洗濯しても色が醒める事なく、二圓四五十錢出せば可成りの品が求められます。これは丈夫一方ですが、よついりになりますと紅梅織風になつて居りまして、木綿でも割合に皺になる事が少く、體裁もよくて、水に入れても染が落ちるやうの事は決してありません。けれども前者のやうな丈夫さは無いでせう。從來縮は夏着として用ひられて居りまして腐はなれがして、着心地はよろしう御坐いますが、汗で縮んで終つたり、裾等がすつかり伸びたりして、餘り工合のよいものではありませんが、近頃東京の地織物で、關東縮と申して居りますものは、幾分此の邊に注意して織つてありますから、そんなに伸び縮みもなく、價も二圓四五十錢からで、浴衣等にはよろしからうと存じます。

□半麻の長襦袢

夏期用の長襦袢に、半麻を用ひ初めましたが、誠に結構な思ひ附きだと存じます。夏のもの特に襦袢等は度々洗濯の出來るものでなければなりません。其の點に於て麻は最も適當のものでせう。四圓乃至五圓で袖と裾にドロンウオークで美しい模様を出したものが御坐いますが、あれならば明石や、絽の下に着ましても涼しい上に大變美しく見えて宜敷しからうと思はれます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

天下最も不幸の人

（續き）

斬墨

リヂャのクリーサス王様はアチス王子が死んでから云ふもの、「自分こそは天下最も不幸な人である」と言つて大變嘆き悲み、其後二年間はお宮の内に閉籠つて外へも出ませんでした。

此時リヂャの隣りに波斯の國があつて、次第に強い國になりますので、クリーサス王様は心安からず思ひ、早く波斯の國を討ち從へて自分の領分にしやうと思ひ立ちました、そこで家來を遣つて神様のお告げを聞かせましたら「若し波斯と戰はゞ一大王國を滅ぼすべし」と云ふ神様のお告げが出ました。クリーサス王様は「之こそ波斯國を滅ぼして我が領分にする事が出來ると云ふ知らせに相違ない」と考へました、遂々波斯と戰爭を開きました。

此時波斯の王様はサイラスと言つて強い人でした。でクリーサス王様は戰に負けて、サイラス王の爲めに擒にされました、サイラス王は、御自分の陣屋の前に薪を山程積ませ、其上にクリーサス王様を縛つて置いて下から火を點けましたから薪は炎々と燃え上り、哀れやクリーサス王様は燒け死にそうになりました、其時クリーサス王様は、二年前に希臘の賢人、ソロンが「人間は死んだ後でなければ、たれが本當に幸福だとも言へない」と言つた事を思ひ出し、我身に引比べて成程と感じ、思はず聲を立て丶「ソロン、々々々と」叫びました。

波斯王サイラス様は之を見て不思議に思ひ、急に家來共に仰せ付けて「疾く火を消してクリーサスを助けよ」と申しましたが、薪は半分も火が付いて居るので水を掛けても容易に消えません、モウ迚も駄目だと見て居ると、忽ち電が光り、雷が鳴り、黒い雲が來て大雨が降つたので、火は自然と消えて了ひました。サイラス王様は、クリーサス王様を助けて我が前に召し、「先刻薪の上で叫んだのは何の事か」と問ひました。

サイラス王様は、先年ソロンと問答した事を詳しく話し、「自分は其折世界一の幸福な人と威張つて居たが、今は國も失ひ妻子も失ひ、自分の命迄失ふ事になつて了つたのです」と物語りました。サイラス王様は之を聞いて「人間の運と云ふものは測り知れない、決して人を酷く取扱ふものでない」と悟り、クリーサス王様を釋して、自分のお宮の中に、お客様として置く事にしました。

でクリーサス王様は其後は、波斯の王様のお情けで、生き長らへる事になり、淋しい詰らない一生を送り、自分こそは最も不幸な人間だと人々に語つたと言ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

地下室の窓から（トルストイ作）

（其五）

松本雲舟

九

子供はもがいて遁げやうとしたが婆さんは兩手で子供を押へて、その帽子を奪つて、遂にその髪の毛をつかんだ。そこで子供は聲をあげて婆さんを罵り出した。マーチンは大針を動かすことを止めて、床の上に仕事を投げ棄てゝ、戸に走つた。石段でよろ〳〵したので、眼鏡を落した。マーチンが街道に走り出ると、お婆さんはまだ子供の髪の毛をつかんで、警察へ連れてゆかうとしてゐた。子供の方は身を遁れやうと爭つてゐた。

「おら、取りやしないよ」、と子供は言つた。「どうして叩るのだい。離さんかい」

マーチンは子供の手を取つて、二人を引分けやうとして、恁う言つた。

「お婆さん、放しておやりなさい。基督のために赦してやつて下さい」

「さうよ、赦してやりませう」と婆さんは口返答した。「この餓鬼が新しい棒の棒で叩られてからな。警察へ曳づつて行つてからよ」

でも、マーチンは尚子供のために仲裁した。

「放しておやりなさい。お婆さん。もう二度とは仕ないでせうから。基督のために放してやつて下さい」

婆さんが子供を放すと、子供は直ぐ遁げ出さうとしたので、マーチンはそれを留めた。

「お前、お婆さんに詫なさい。もう二度とこんな事をするなよ。お前が林檎を取るのを私は見てゐた」

子供は泣き出して、マーチンの言ふ通りに婆さんに詫び入つた。

「よく謝罪つた」とマーチンが言つた。「これなら私が一つ林檎をあげやう。さあ、これを」と籠の中から林檎を一つ出して、それを子供に渡してから「お婆さん、お錢は私が拂ひますよ」と附けたした。

「でも、そんな事をなさると癖になりますよ」と婆さんは反對した。「こんな餓鬼は一週間も拘留を喰つた方が善いです」

「あゝお婆さん、お婆さん」とマーチンは叫んだ。「それは人間のする罰で、神さまの罰ではありません。この子供が林檎を取つたので、鞭打たれねばならぬなら、私共も罪のために又罰を受けねばなりませんでせうか。

十六

十

婆さんは默つてゐた。で、マーチンは大なる借債のある僕を赦した主人の譬を話した。その僕は主人から赦された事を忘れて、自分に借債のある人の咽喉を摑んだといふことを話すと、婆さんも子供もそれに耳を傾けた。

「神さまは、爾曹互に赦せよと仰せられたのです」とマーチンが言葉を進めた。「さうしないと、神さまも私共を赦して下さいません。私は凡ての人を赦さねばなりません。殊に理のわからぬ者を赦してやらねばならぬのです」

婆さんは首を振つて、嘆息をついた。

「さうでございませうね」と婆さんは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言つた。「でも、この餓鬼はもう心が腐れてゐるですよ」

「ですから、私共のやうに年を老つた者がよく敎へてやらねばいけません」とマーチンが答へた。

「私も時々そんな事を申しますよ」と婆さんが後をついて言つた。「私の家にもこんな子供が七人居りました。今では娘一人になりましたが」とお婆さんは自分と娘の住ふ所やその暮し向や、大勢の孫のことなどを話した。

「私はごらんのやうに力が拔けてゐますが、それでも孫が可愛いばかりに、骨を折つて働いてゐるのですよ。まだほんの小さい可愛い子供でしてね。まだ歩いて私の側まで來れないですよ。アキシンカといふ女の兒は私にこびりついてゐましてね。「お婆ちやん、可愛いお婆ちやん、疲れたでちよう」なんと申しますよ」と婆さんは次第に心がやわらかになつて、子供といふ者はそれは可愛いものですね、と林檎を取つた子供の方へ向いて、

「ああ、お前行つてもよいよ」

婆さんは子供が前に歩き出したので、肩に袋をあげやうとした。

「お婆さん、私が持つて行つてあげませう。私の歸り途ですから」

婆さんは首肯いて見せて、子供に袋を渡した。そして子供と一緒に歩き去つた。婆さんはマーチンから林檎のお錢を貰ふことを全たく忘れてしまつた。マーチンは二人の後姿を見送つた。そして二人が歩きながら話して行くのをしげしげと見てゐた。

新刊紹介

□人及び女として（與謝野晶子著） 才筆を自由に驅つて、時勢を論じ、敎育を批評し、性の問題に觸れ、生活研究に及んで居る。凡て捉はれざる見解を大膽卒直に述べて居る處に、躍るやうな鮮かさがあります。自序の冒頭に「日本の公衆と官憲と特に婦人達とに望みます。どうぞ私に之が眞實であると思ふ所を語らせて下さい。時に明治から大正へ遷つて居る。日本の女もまた男のやうにあらゆる虚僞と妥協とから脫して、眞實に思想し、眞實に發言し、眞實に行爲することを許さるべき時機に達して居ると信じます」と。（發行所東京牛込辨樂町二の廿二天弦堂　定價一圓）

□霧の王國へ（別所梅之助氏著） 氏の行文流麗なるは、既に定評があります。「物干へは二階から上つて行くものとのみ思つてゐた」といふ都育ちの少年は長じて著述や敎授の暇には、僅かに荷背負を頼むのみで、只一人、可成り多くの山河を跋渉して、强い自然に接するのを樂しみとせられました。これはその紀行を東北から西南へと排列し一々淸新な寫眞を添えたものであります。自然を背景にした人情風俗などが、詩のやうに趣深くあらはれて居る所や、著者一流の自然に對する哲學的感想等が、浮び出て居る所もあり、眞に俗塵を洗ふるに堪ゆるものであります。（發行所東京京橋區尾張町三の十五警醒社、定價一圓）

□花園生活（中村秋人著） 名を聞いても心地よい。著者は幼き時四月八日の釋迦の降誕會に花御堂を見る頃より、そゞろ花園生活を憧憬して居つたと申します。今は北海道に記者生活を送りながらも、のび〱とした大自然の中に浸りながら、思ふ存分に其思索を汲み、氣持よく味ひ度いとの趣意から、此の著をなしたもので、四季の花や果樹の趣味的研究に添へてちよい〱と栽培法の注意等が述べてあります。（發行所東京麹町平河町二の九洛陽堂定價七十錢）

□さゝやき（川副櫻府氏著） 嘗て女子大學櫻楓會發行の家庭週報に掲載したローマ字綴りの雜筆二十篇を蒐めて、美しい小册子に編んだものであります。卷頭に成瀨仁藏氏は「今後の日本は日用文學としてにローマ字を採用しなければならぬことには異議論の必要はない」と序を書いて居られます。（發行所麹町區丸の内ローマ字ひろめ會、定價二十錢）

□趣味之世界（月刊） 五月の創刊號には成瀨仁藏氏の祝辭、嘉悅孝子氏の「よろしく社會を敎育せよ」戶川殘花氏の「良妻賢母に趣味が欲しい」等があつて書畫、生花、園藝、造花、料理等の趣味的記事を掲げたものであります。（發行所東京芝白金今里町一五八其社、一部廿二錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉**幼年學校行幸** 聖上陛下には三十一日午前九時宮城御出門陸軍幼年學校卒業式に行幸あらせられました。

◉**愛國婦人會行啓** 愛國婦人會第十五回總會は、既報の如く廿四日午前十時半皇后陛下の行啓を仰ぎ奉りて、日比谷公園なる式場に擧行せられました。陛下には午前十時半式場に出御あらせられ、三萬の會衆に向つて、玉音朗らかに令旨を賜ひ、同十時四十五分還啓相成りました。尙同會にては廿六日九段階行社に理事、評議員、顧問、有功章佩用者支部正副會長等を招き、茶話會を催されました。

◉**勳一等親授式** 天皇陛下には廿五日午前十時三十分宮中鳳凰の間に出御勳章親授式を行はせられました。名譽の一等勳章を授けられたる者は左の人々です。

東京帝國大學理科大學教授勳二等理學博士 田中舘愛橘
東京帝國大學醫科大學教授勳二等醫學博士 弘田長
東京帝國大學醫科大學教授勳二等醫學博士 青山胤通
東京帝國大學醫科大學教授勳二等醫學博士 河本重次郎
東京帝國大學理科大學教授勳二等理學博士 櫻井錠二

◉**御大禮記錄編纂** 豫ねてより計畫中なりし御大禮記錄の編纂は愈々近々着手する筈にて、二十九日其の奉行に參與したる平沼檢事總長以下十八名の編纂委員並に委員會幹事の任命あり、其の體裁編輯記述の方針に就ては、六月初旬第一回の編纂委員會に於て、協議を遂げらるべしと。任命委員左の如し、

▲委員 平沼騏一郎、藤波言忠、古川阪次郎、片山東熊、石原健三、菅原通敬、馬場三郎、江木翼、小原駩吉、近藤久敬、木下淑夫、多田好問、河原作、小野義一、天岡直嘉、西園寺八郎、木村英俊、杉琢磨

▲幹事 下條康麿、山崎直三

◉**山東事件正式交渉** 山東一帶の動亂甚だしく我が在留臣民の保護は益々困難を加ふるに至りたるを以つて、帝國政府は愈々日置公使をして支那政府に對し、斷然たる抗議を提出せしむるに決し、廿九日公式に交渉を開始したるが、支那にして治安の能力なき時は、斷乎たる處置に出づるやも計られずと。

◉**袁氏重患說疑はし** 袁氏重患の報は事實にあらず、只時局に憤慨して閉居せる爲め此の風說を生じたるならんと、而し過勞の結果健康を害し居ることは事實なるべし。

◉**伊墺間講和成立說** 瑞典の新聞紙の傳ふる所に據れば、獨逸よりの情報は伊墺單獨講和成立せるやにて、獨逸皇帝は墺國皇帝を說服し、トレンチノを伊太利に與へて和を講じたりと。

◉**印度詩聖來る** 詩聖タゴール氏を乘せたる土佐丸は豫定の如く二十九日午後神戶に入港しました。氏は先年渡印して親しく起居を共にしたる本邦人及び故小泉八雲氏の著書によりて久しく日本を憧憬し愈々、今日渡來の機に至つたのであるさうです。尙ほ同氏は京都奈良を見物の上五日東上の筈

◉**日置師當選** 二十三日以來東京芝公園宗務院に於て執行中なりし曹洞宗永平寺後董選擧は、廿六日朝に至り全部結了總投票數一萬二百六票でありましたが、開票の結果左の如く、日置默仙師九五三九票の大多數にて當選しました。曾て石川素童師が六千票內外を得たるは空前の票數なりとの說ありしも、夫を凌駕すること實に三千票の多きに達し、日置師の得點は同宗空前のことである由です。

◉**遣英看護婦贈勳さる** 我が遣英看護婦が勇敢なる看護婦として歐洲各國に賞讃されたことは既報の通りですが今回同國皇帝陛下より左の如く贈勳され佩用を允許されました。

看護婦長勳七等 山本やな
同 上 清岡繁

大不列顛國皇帝陛下より贈與されたる赤十字第一勳章を受領し及び佩用することを允許せらる。

◉**慈善大音樂會** 矢島楫子女史の基督教婦人矯風會にては來る六月十日午後二時上野音樂學校に於て大音樂會を開催、出演者は同校教授ペッオート夫人を始め長井長義博士令孃エルザ孃、鈴木のぶ子、森本縫子、大山玉子、長坂好子、柳兼子、安村毓子、ゴルドマン夫人、ストウルーテス孃、ツコルウエゲ氏、キンネル氏等であります。長井博士令孃は今夏米國の一富豪と結婚せらるゝ筈で、今回は故國にての名殘の演奏であるとの事であります。

◉**白塞救濟資金寄附慈善演藝會** 鍋島侯爵夫人其他日本赤十字篤志看護婦人會有志の發起にかゝる同會に二十六日夜帝劇に於て催されましたが當日は正六時に東伏見宮殿下、同妃殿下、閑院宮妃殿下梨本宮妃殿下、久邇宮妃殿下、伏見若宮妃殿下の御六方台臨あらせられ引續いて英國大使夫妻鍋島侯、津輕伯、渡邊式部官、吉田式部官、其他各國の大公使の夫人令孃、貴族富豪等の家族に依て早くも午後七時頃には滿員の盛況を告げました。

◉**電車値上實施期** 電車値上實施期日は愈々來る七月一日よりと決定せられました。尙ほ舊乘車劵處分に就ては相當の期間のみこれが使用を許し、有效期間滿了後は斷然無效たらしめん意嚮なる由です

◉**對支貿易良好** 大藏省の發表したる五月中旬の對支貿易は輸出額四百十二萬三千圓輸入額二百八十四萬七千圓差引き出超額百廿七萬六千圓を示せりと。

◉**青年の死亡律增加** 去る二十七、八の兩日麻布富士見町なる內閣統計局の催せる展覽會の調査する處によれば明治三十四年以降四十三年に至る十年間に亙る男女死亡原因を比較すると、女子の結核性質患の爲に斃れる數が死亡千に對し一〇・三三から一四・七三と云ふ驚くべき比例を以て高騰して居るに反し、男子は腦神經性疾患死亡が多く、殊に妙齡の少女の死亡率が遙に男子を凌駕して居る、又我が國が生產率の高い事は世界有數の位置に在るにも拘らず、死亡率が非常に多く、十五歲以上三十五歲迄の青壯年者の死亡率が英獨諸國の二倍若しくは三倍に率を示して居る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のは寒心に堪へぬ現象である、次に東京、大阪、京都三大都市内よりも郊外隣接町村の方が遙に結核性疾患の多い事は、都市生活と郊外の生活衛生上注意すべきである」と。

●**婦人問題研究會** 廿七日午後五時より第五回例會を麹町區八重洲町中央亭に開き、醫學博士永井潜氏の「性別と內分泌に就て」の講演あり、例の如く學者、名士の會する者三十名に上り、十名餘の婦人の出席者もあり頗る盛會でありました

個人消息

△戸田たつ子 式部長官戸田氏共伯令姪たつ子刀自は二十五日享年四十三歳を以つて逝かる。

△三津木貞子（故春影氏夫人）近々某書肆から、歌集を出版せらるゝ由です。

女學校だより

△學習院女學部 去る二十八日昭憲皇太后陛下の地久節に相當せるを以って、例年の通り校長以下一堂に會し記念會を催しました。

△女子高等師範學校 同校にては廿八日特に鎌倉に遠足して、故陛下の記念講話會を催せりと。

△淑德女學校 去る廿七日海軍記念日なりし故、海軍本部より出張を乞ひて記念講話會を開きました。

編輯室より

▲夜の編輯室は誠に奇麗でございます。東の露臺から眺めて居れば、煩はしい周圍の家の瓦は黒く包まれて、遙か外壕の土手を越して、赤く青い燈火が、螢のやうに散在して居る外は、大空に月と星との輝くのを見る斗りです。▲北の窓から見ゆる山の手の町は、林檎の赤、夏蜜柑の黄な、みづ〳〵しい青物の間にのぞかせて、瓦斯の青い光りを浴びた店先に、三四人近所のおかみさん達が睦しげに話し合つて居ります。かうして創刊以來早くも半歳を過ぎて、夏を迎へたといふ事は、涙ぐましい迄にさま〴〵の感想を與へます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人 東京市京橋區銀座四丁目一番地 小橋三四子
印刷所 東京支店 福音印刷合資會社
發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番 電話番町四五六六番

合名會社
飯嶋婦人洋服店
男女小兒服裁縫並に附屬品販賣
電話新橋二五一八番
東京市芝區南佐久間町一丁目一番地

ピナットバター
大罐 六十錢
小罐 卅五錢
ピーナットバターは蛋白質脂肪等を多大に含有するが故に極めて滋養に富み便秘脚氣、衰弱、貧血、冷へ性、肺病、糖尿病等に卓効あり
婦人週報社代理部取次
振替東京三一六六〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町　六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
南湖院
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング
新調同樣になります
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも
殆んど
和洋服**外套インバ**ネス**トコート**
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング
と染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　**女醫　吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二三五七

齒科
ドクトル　**富田貞一**
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）

殺菌と血止めに便利なる
【毒消し筆】
一本金拾錢
送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其場所を殺菌す
●携帶至便●使用簡便●殆んど永久に用ひらるる●是非一本を試みあれ
（注意）參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元　小石川區高田老松町十七　**目白藥局**
振替東京三一六九二

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫　**井出茂代**
電話番町三六七七番

速成個人教授**生徒募集**
普通科五十種一ヶ月
高等科五十種二ヶ月
入所入舍隨時

袋物
生花、造花、摘細工、縫細工、綿細工、壘細工、儀式用折紳、水引結方、和洋裁縫、
東京九段靖國神社横
大妻技藝傳習所

肝油服用者之福音
諸大醫の賞讚
肝油球の特効
身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の悪しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人
最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である
發賣元　東京市赤坂區田町五ノ一
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

——體力精力増進に今が肝油服用時期——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學界の權威姉妹篇成る

東京帝國大學醫科大學教授醫學博士永井潛先生新著

生物學と哲學との境

菊判七百頁純白總布製
天金美裝箱入
定價參圓八拾錢送料拾六錢

再版成る

科學の嶺と、哲學の峰と、聳え峙つ其間の深い深い谷底に碧の如き生命の泉が湛へて居る。其處に『物』と『心』が神秘の影を『人』と『自然』に映して居る。『主觀』と『客觀』が樂しき踊を舞て居る『主觀』と『客觀』が温き握手をして、最も崇く最も大なる天啓に耳を傾けて居る。而かも科學の嶺に得々たる者も、哲學の峰に超然たる者も到底此の天地の大觀に接することは出來ぬ、之に接することの出來るのは、嶺より峰に向ふ聖智の人、峰より嶺に進む圓覺の士でなければならぬ、曩に『生命論』を公にして洛陽の紙價を貴からしめ『醫學と哲學』を出して、斯界を驚嘆せしめたる著者は今此の大觀を提げ來りて讀者に說明せんと努力して居る或は生命研究の眞諦を論じ或は智識生活の第一歩を說き、或は心身の影響を叙し或は兩性相關の妙趣を述べ或は自然死の研究に入る材は人を得て其光彩を放ち、人は材を待て其妙腕を揮つて居る。思を自然と人生とに馳せつゝある天下有識の士に、此の書を繙いて必ずや莞爾たる者あるであらう。

醫學博士永井潛先生著（增補五版）

生命論

菊判五百七十頁布製天金挿畫四十七枚
美裝箱入定價二圓八十錢 送料十六錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二〇一九一四番 洛陽堂 電話番町（四二五八）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA